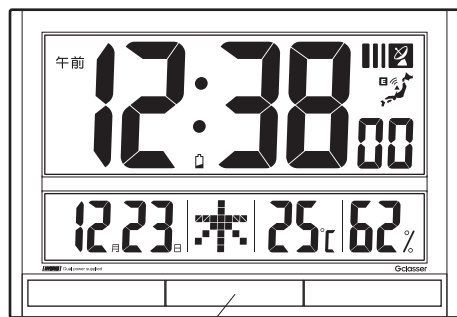


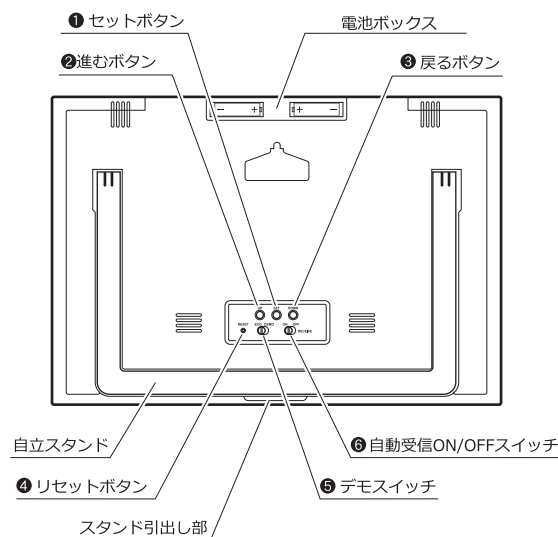
# 各部の名称/ご使用方法

## ■ 本体正面



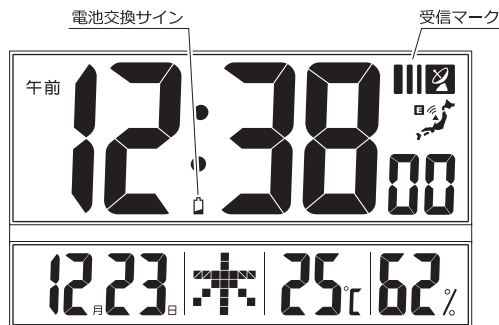
ソーラーセル

## ■ 本体裏面 <電池蓋を開けた状態>



- ① セットボタン — このボタンを押すと受信を開始します。また、このボタンを約3秒以上押し続けると、手動で時刻を設定することができます。
- ② 進むボタン — 手動で時刻をセットするときに使用します。
- ③ 戻るボタン
- ④ リセットボタン — 時刻データなどを全てクリアにし、電池を入れた直後の状態に戻します。
- ⑤ デモスイッチ — エコモード時の画面表示を確認できます。
- ⑥ 自動受信ON/OFFスイッチ — 定期的な受信（自動受信）のON/OFFを切り替えます。

## ■ 表示



## ■ 電池を入れる

本体裏面の電池蓋を開け、単3乾電池2本を電池ボックスに記載されている+（プラス）/−（マイナス）の表示に合わせて正しくセットしてください。電池をセットしたら電池蓋を元の位置に戻し、必ず「④リセットボタン」を押してください。

**！** ソーラー発電は電池を長持ちさせるためのものです。電池無しで使用することはできません。

## ■ 電波受信をはじめる

「④リセットボタン」を押すと全ての表示が点灯した後、表示は「午前12：00」となり、受信を開始します。受信が終了するまで本機を動かさず、窓際などの受信しやすい場所に置いてください。受信中は“受信マーク”が点滅します。  
◎受信に要する時間は3分～18分です。

## ■ 受信結果

【受信成功】  
電波の受信に成功すると正しい時刻が表示されます。



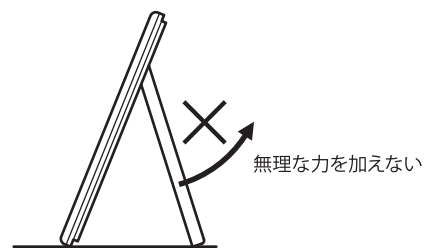
W E のどちらかが点灯します。  
W：九州送信所からの電波を受信  
E：福島送信所からの電波を受信

【受信失敗】  
正しい時刻を表示せずに受信マークが消灯した場合は、電波の受信に失敗しています。右記「電波を受信できなかった場合」に従って再度受信させるか、手動で時刻を合わせてください。



## ■ 置いて使用する

本体裏面の「自立スタンド」を「スタンド引出し部」に指をかけ、手前に引き出してください。スタンドは一定以上に開かないよう設計されていますので、過度に力を加えますと破損の原因となります。ご注意ください。



## ■ 壁にかけて使用する

付属の木ネジや市販の金具を壁に取り付け、本体の壁掛け穴にしっかりと掛かるように本体を取り付けてください。



時計を掛けるときは垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして確実に掛っているか確認してください。掛け方が不十分ですと、時計が落下する恐れがあり危険です。

# 電波を受信できなかった場合

## ■ 再度受信を試みる

手動で受信を行います。  
「①セットボタン」を押すと、電波受信を開始します。

夜間は昼間比べて受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、夜間に自動で受信できる場合がございますので、一昼夜様子を見てください。

## ■ 手動で時刻を合わせる

電波を受信できなかった場合は、下記の手順で日付と時刻を合わせてください。

【設定例：2013年11月25日午前11時】

- ① 西暦年数を合わせる  
「①セットボタン」を約3秒間押しします。  
月日表示から西暦年表示に変わり点滅します。「②進むボタン」「③戻るボタン」を押して年数を合わせます。  
↓ 「①セットボタン」を押す
- ② 月・日を合わせる  
西暦年表示から月日表示に変わり点滅します。「②進むボタン」「③戻るボタン」を押して月日を合わせます。  
↓ 「①セットボタン」を押す
- ③ 時刻を合わせる  
時刻表示の「時」と「分」部分が点滅します。「②進むボタン」「③戻るボタン」を押して時刻を合わせます。  
↓ 「①セットボタン」を押す
- ④ セット終了です。  
画面の点滅が消え、通常モードに戻ったことを確認してください。

## ご注意

- ◎「進むボタン」を押すと数字が進み、「戻るボタン」を押すと数字が戻ります。
- ◎手動時刻セットモードの途中で、約30秒間操作をしない場合は、手動セットモードは解除されます。
- ◎西暦年・月・日を正しくセットすると曜日は自動的にセットされます。
- ◎温度・湿度を任意にセットすることはできません。

※秒まで正しく合わせるには「時刻」を合わせるときに「②進むボタン」か「③戻るボタン」を押すごとに秒表示がゼロになります。タイミングよく押すと、時報などに合わせることができます。

# その他の機能

## ■ 自動受信OFF機能

本機は、毎日午前・午後の2時/5時/8時/11時に自動で電波受

信を行います。受信環境が悪い場所、あるいは受信が不安定な場所で使用したり、任意に時刻をずらしたまま使用する場合には、「⑥自動受信ON/OFFスイッチ」をOFFに合わせると、この自動受信による定期的な受信をキャンセルすることができます。

## ■ エコモードについて

電池を長持ちさせるための機能で、お部屋の明るさが暗くなると、（一般的には時計の表示を視認できない明るさ）自動的にエコモードに切り替わります。エコモード中はエコモードマークのみが表示され、その他一切の表示はされません。お部屋の明るさが明るくなると、自動的に通常のモードに戻ります。  
※エコモード中の表示は本体裏の「⑤デモスイッチ」で確認いただけます。

## ■ 電池交換サイン

電池が消耗し交換時期がくると、時・分表示の間に電池交換サインが点灯します。新品の乾電池をご用意の上、すみやかにお取り換えください。

**！** 電池交換の際は必ず2本とも新品の乾電池をご使用ください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用されますと、電池の液漏れや故障の原因となることがあります。

# ソーラー発電について

本機は乾電池を長持ちさせるために、光によって発電して電力を補助供給するシステム（ハイブリッドソーラーシステム）を備えています。万一、電池を入れずにご使用になると、室内の明るさが暗くなり、発電量が不十分になった時点で、時計の動作が不安定になります。電池は必ずセットしてご使用ください。

**！** 時計に直射日光を当てないでください。ソーラーセルの発電効率が低下したり、外装部材が変色、劣化します。

# お手入れのしかた

ケースなどを拭くときは、シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーなどは使用しないでください。汚れがひどい時は、石鹸水または水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に浸してよく絞ってから拭き、乾いたあとに乾いた布で拭いてください。また、殺虫剤やヘアースプレーなどもかかからないようにしてください。

# こんなときは

症状	対処
●画面の表示が薄くなってきた ●画面が点いたり消えたりする	電池の消耗が考えられます。新品の単3乾電池2本と交換してください。
●画面の表示が乱れる ●時計が止まったまま動かない	静電気による誤作動が考えられます。「④リセットボタン」を押して様子を見てください。
●使用中に時間がずれてきた	自動受信による定期的な受信に失敗している可能性があります。場所を変えて受信してください。

# アフターサービス

- 外装部品やその他の付属品についての修理には、類似の代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
- 無料保証期間が過ぎてもお客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 下記のような場合には無料保証期間でも有料修理となりますのでご注意ください。
  - 1 保証書の提示がない場合。
  - 2 保証書に日付、販売店名の記載がない場合や、字句を書き換えられた場合。
  - 3 誤ったご使用によって生じた故障や損傷。
  - 4 天災、火災または異常な塩分、酸、蒸気、有毒ガスなどの影響による故障や損傷。
  - 5 お客様による修理、改造が原因で故障した場合。

この説明書の内容は、予告なしに変更になることがあります。印刷による制限のため、この説明書中の図が実際の製品と異なる場合があります。この説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

発売元

## LADONNA

### 株式会社ラドンナ

〒135-0031

東京都江東区佐賀1-5-9 永代MKビル

<http://ladonna-co.net/>

TEL : 03-5620-2780

# ハイブリッドデジタル電波時計

## 取扱説明書（保証書付）

このたびは、当製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、読み終わった後もお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

### 製品仕様

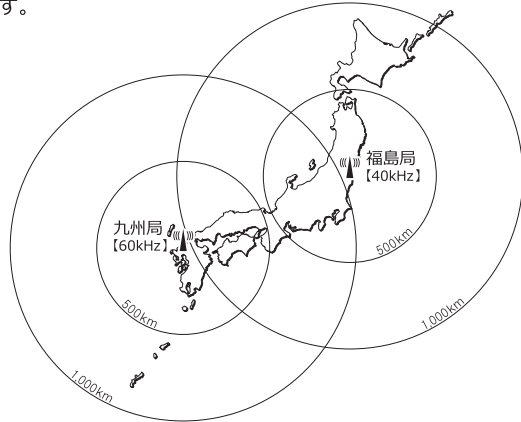
型番：GDD-001	
時計精度	●標準電波の受信に成功した直後表示精度：±1秒 ●標準電波を受信していないとき平均月差：±30秒（常温中）
温度計精度	±1.5℃（+10℃～+40℃の範囲において）
湿度計精度	±8%（25～85%の範囲において）
温度計表示範囲	0℃～60℃（0℃未満...“LL” 60℃超...“HH”を表示）
湿度計表示範囲	20%～95%（20%未満...“LL” 95%超...“HH”を表示） ※温度が0℃未満、もしくは60℃超では計測されません。このときは“--”と表示します。
使用温度範囲	0℃～+40℃
使用乾電池	1.5V 単3乾電池2本
電池寿命	300Lux以上の明るさの室内で16時間使用した場合、約2年間（アルカリ電池使用時）
主な機能	●ソーラー発電 ●エコモード ●自動受信OFF機能
付属品	・取扱説明書/保証書（本書）、 ・掛け具（木ネジ）、 ・単3アルカリ電池2本

※付属の乾電池は工場出荷時に入れておりますモニター用電池ですので、製品仕様の表示より電池寿命が短い場合があります。

※上記の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

# 電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、現在は福島県の「おたかどや山（40kHz）」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山（60kHz）」の2か所から送信されております。これらの電波は条件の良い時は送信所から1,000～1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・設置場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。

◀独立行政法人情報通信研究機構▶

<http://www.nict.go.jp/>

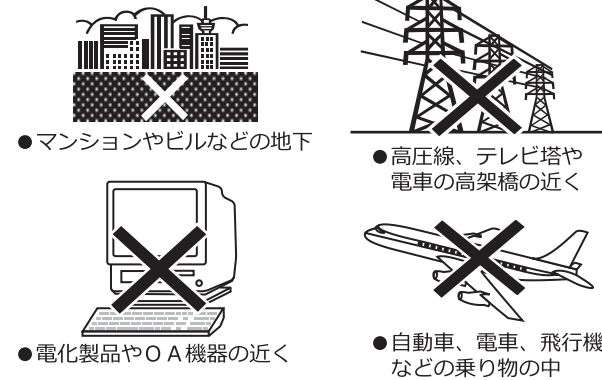
◀日本標準時プロジェクト▶

<http://jjy.nict.go.jp/>

※送信設備のメンテナンスなどにより電波が停波される場合がございます。※上記URLは予告無く変更される場合があります。

## 【使用場所】

下記のような場所では電波を受信できない場合があります。



- マンションやビルなどの地下
- 高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く
- 電化製品やOA機器の近く
- 自動車、電車、飛行機などの乗り物の中
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 工事現場、空港、交通量の多い所など電波障害の起きる場所。
- 金属製の家具の上など電波を遮断する場所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、電波の入りが悪い場所。

## 電波を受信させるコツ

電波発信局の方角に近い窓際に置いて受信してください。

受信しない場合、場所を変えて受信するか、電池を一旦取り外し、夜間に受信しやすい窓際で電池を再度セットして朝まで様子を見てください。夜間は昼間と比較して受信しやすい傾向があります。

<p>電波を受信しにくい場合</p> <p>電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。</p>	<p>ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合</p> <p>時計が電波を受信していない可能性があります。電池の消耗が考えられる場合は、新品の電池に交換し、電波を受信しやすい窓際等でのご使用をお勧めします。</p>
--	--

※写真は掛け時計の設置例です（写真は当製品とは異なります。）

# 温度計・湿度計について

当製品は業務用ではありません。厳密な温度・湿度管理を行う用途には適しません。

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全にご使用いただき、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

▼電池について	
	電池から漏れた液が眼に入った場合は、失明する恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い医師の治療を受けてください。皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。
	・プラス（+）、マイナス（-）の方向を正しく入れてください。 ・長時間使用しないときは電池をはずしてください。電池を入れたままにしておくと、漏液して製品内部を痛める原因になる恐れがあります。
	充電や分解など、ショートする恐れのあることはしないでください。液モレ、発熱、破裂の原因になります。また、加熱したり火の中へ入れないでください。
▼時計の掛け金具（木ネジ）について	
	時計を掛ける壁の材質・構造をご確認のうえ、この時計の重さに耐えられる掛け具を選んでください。特に、コンクリート・石膏ボードなどの壁や柱に掛ける場合は付属の掛け具を使用せず、市販の専用掛け具を使用してください。
▼時計の掛け方	
	時計を掛けるときは垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かし、確実に掛っているか確認してください。掛け方が不十分ですと時計が落下する恐れがあり危険です。
▼誤飲による事故防止について	
	付属部品（電池など）は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合にはすぐに医師の治療を受けてください。
▼使用場所について	
	下記のようなところでは使用しないでください。 ・温度が+40℃を超えところ。例えば、直射日光の当たるところや、暖房器具・火気に近いところ。 ・温度が0℃未満になるところ。 ・浴室・洗面所などの直接水がかかる場所や、湿気が多いところ。 ・屋外やほこりが多く発生する場所。 ・強い磁気のある場所や、激しい震動のある場所。 ・多くの油を使用するところ。 ・倒れたり、落ちたりしそうな不安定なところ。
▼その他	
	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。